

Press Release

◆ 内容についてのお問い合わせ

独立行政法人 国際協力機構(JICA)東北支部 担当:高橋

TEL: 022-223-4772 FAX: 022-227-3090

Email: Takahashi.Hiroaki@jica.go.jp

東北発の空調省エネ技術 WindWill!

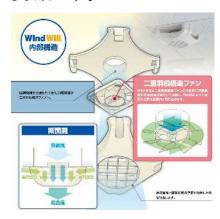
東北の技術をインドネシアのエネルギー問題解決へ一

国際協力機構(JICA)は11月28日、「中小企業連携促進基礎調査」において空調企業株式会社(代表取締役 宮部和夫)が提案する「空気攪拌装置による温室効果ガス排出削減事業に向けた基礎調査(中小企業連携促進)」(インドネシア国)の採択を発表し、現在、現地調査開始に向けて準備作業を進めています。

インドネシアでは近年、温室効果ガス(GHG)排出量などの環境問題が深刻化しています。人口増加による電力需要は急増し、特に人口が集中している経済中心地(ジャカルタ、ジャワ、バリなど)では、電力不足が問題となっています。このような状況下、インドネシア政府は電化率向上やインフラ整備、法整備に着手し、環境負荷の観点からも省エネの推進を重要な政策課題として位置付けています。特に都市部では、商業施設を中心に省エネ推進に取り組んでいる状況です。



東北を中心に空調機器関連事業や 省エネ事業などを展開



特殊なファン構造を持つ省エネ製品 WindWill

宮城県に本社を置く空調企業株式会社は、東北6県を中心に省エネサービスを提供し、環境問題へ取り組んできた多大な実績を有しています。今回、上記の課題に対して提案している空気攪拌装置「WindWill」は、地元東北大学や仙台市などとの産学官連携により開発し、みやぎものづくり大賞グランプリを受賞した製品です。電力を必要とせず、商業施設などの空調機器の送風口へ設置することで、冷暖房の空調に必要な電力消費エネルギーを約30%削減することが可能です。この製品・技術が商業施設へ普及することで、GHG削減及び省エネ推進に貢献することが期待されています。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携促進基礎調査」として 実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出 することによる開発課題解決の可能性及び ODA 事業との連携可能性を検討するための もので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としていま す。2014 年度は本年 7 月に公示を行い、61 件の応募のうち 10 件が採択されました。 今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。